



合格報告 「救急救命士の26人」に
「救急救命士」国家試験合格報告

受章報告 消防団の長年の活動が認められる
日本消防協会定例表彰「表彰旗」受章報告

官民連携 官民連携で関係人口拡大へ
「ワーケーションを活用した企業研修」記者発表会

交通安全 新入学児童の安全を願う
交通安全グッズ「シースルー傘」「カラーリフレクター」贈呈式

北秋田市消防署の櫻田優平さん（写真左）が4月4日に市役所本庁舎を訪れ、救急救命士国家試験合格の報告を行いました。櫻田さんは昨年、救急救命東京研修所で研修を受け、今年3月の試験で合格し、市消防署では33人目（実働数26人）の救急救命士となりました。

櫻田さんは「この合格で救急救命士のスタート地点に立つことができました。これから救命現場で活動することになるが、患者に処置を施すために、病院での実習を経てさらに学んでいきたい」などと今後の抱負を述べました。



第74回日本消防協会定例表彰で北秋田市消防団（杉淵一弘団長）が優良消防団「表彰旗」を受章し、4月4日に市役所本庁舎で受章報告が行われました。この「表彰旗」は、今年全国の消防団の中から他の模範となる消防団35団が選出され、秋田県からは北秋田市消防団が受章し、昨年の「竿頭綬」に続く2年連続の受章となりました。

津谷市長は「長年の活動などが認められての受章。この受章を契機に、消防団員が一丸となって市民の安心安全に一層励んでほしい」などお祝いの言葉を述べました。



市の関係人口拡大に向けた取り組みとして進められた「ワーケーションを活用した企業研修プログラム」の共同記者発表会が3月24日に市役所本庁舎で行われました。

市独自の「マタギ文化」を取り入れた企業研修プログラムを活用し、官民が連携して「新たな人の流れをつくる」取り組みを実施していきます。

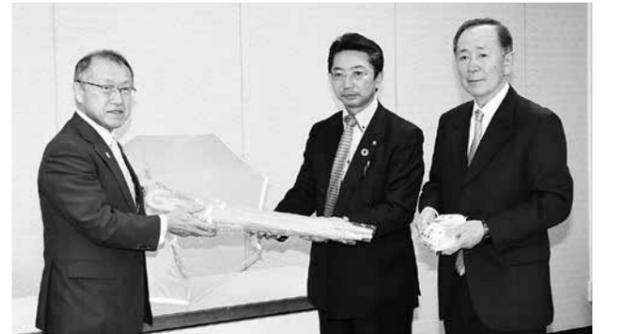
今後はモニターツアーの実証実験等を実施しながら、北秋田市へ来ていただける研修プログラムに磨き上げ、関係人口の創出につなげていきます。



鷹巣地区安全運転管理者協会（小林郷司会長）と鷹巣地区事業主交通安全推進協会（佐々木孝憲会長）から「シースルー子ども反射傘」110本と「カラーリフレクター（反射板）」220個が鷹巣地区の新入学児童に寄贈され、その贈呈式が3月11日に市役所第二庁舎で行われました。

両協会では、新入学児童が交通事故に遭うことなく安全に通学できるようにと平成29年から寄贈しています。

今回寄贈された交通安全グッズは、教育委員会から各小学校の新入学児童109人に配付されました。



地域行事 縄文の里でサケの稚魚2万匹放流
第12回「カムバック縄文サーモン」

受賞報告 競技の振興と競技力向上に貢献
秋田県スポーツ賞功労賞受賞報告

交通安全 「黄色の鈴」が児童の安全を見守る
交通安全母の会「黄色の鈴」贈呈式

贈呈式 寄附申出企業第1号へ感謝状贈呈
企業版ふるさと納税感謝状贈呈式

サケ放流事業「カムバック縄文サーモン」が、4月9日に伊勢堂遺跡の下を流れる湯車川で行われ、市民約60人がサケの稚魚2万匹を放流しました。

この放流事業は、サケが遡上するふるさとの川の環境保護を図るため遺跡の一般公開前のこの時期に行われており、平成23年から始まり今回で12回目を迎えました。

参加者は、バケツに小分けしたサケの稚魚を津谷市長や佐藤教育長とともに放流し、湯車川を元気に泳ぐ稚魚の姿を見守りました。



県スポーツ賞功労賞を受賞した成田政志さん（合川李岱）が4月7日に市役所本庁舎を訪れ、受賞報告を行いました。

成田さんは選手として国体・全国大会等で活躍。指導者としても選手の育成や競技力向上に尽力し、全国大会優勝12回、オリンピック選手など多くの優秀な選手を育成し、フェンシング協会役員の功績も認められての受賞となりました。

津谷市長は「長年フェンシング界をけん引された功績の受賞であり、今後も後進の指導、さらにはフェンシングの底辺拡大も含めて尽力願う」などお祝いの言葉を述べました。



鷹巣地区交通安全母の会（中嶋洋子会長）から「黄色の鈴」129個が鷹巣地区の新入学児童に寄贈され、その贈呈式が3月30日に市民ふれあいプラザで行われました。

母の会では、新入学児童を交通事故から守る活動として毎年手作りの「黄色の鈴」を寄贈しており、教育委員会から各小学校の新入学児童109人に配付されました。

佐藤教育長は「ドライバーや地域の方にもわかりやすく、この『黄色の鈴』が児童の登下校の安全を見守ってくれている」などと活動に対してお礼の言葉を述べました。



企業版ふるさと納税の感謝状贈呈式が3月24日に市役所本庁舎で行われ、寄附申出企業第1号となる株式会社エレクトクス極東（三宅正貢代表取締役社長）に感謝状を贈呈しました。

同社は、県誘致企業に認定され、平成26年に脇神地区に燦ソーラー発電所を設置し、翌年にはエレクトクス極東鷹巣を開業。平成28年に阿仁前田地区、平成29年に李岱地区にメガソーラー太陽光発電所を設置しています。

津谷市長は「応援に感謝して地方創生の推進を図るため有効利用させていただきたい」などと感謝の言葉を述べました。

